

令和2年5月29日

学生（学部、大学院）の皆さんへ
保護者の皆様へ

学長 尾辻 豊

新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について(6月以降 改訂版)

6月1日（月）以降の本学の教育活動における対応について、5月20日付けでお知らせしましたが、その後、北九州市内における感染拡大の状況を受けて、下記のとおり一部変更することとしましたので、お知らせします。

学生の皆さんは、不要不急の外出を控え、基本的な感染防止策である「三つの密」を徹底的に避けるとともに、「人と人の距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」等を行い、「感染しない、感染させない」ことを常に心がけ、行動するようお願いします。

記

1 6月以降の対応予定期間

令和2年6月1日（月）以降の当面の間（変更なし）

2 対応内容

① 大学構内への入構（変更）

引き続き、全学生の大学構内への入構を原則禁止とします。ただし、各種申請手続等に必要な場合は、事前に大学に連絡し、感染防止対策を行ったうえでの入構を認めます。

② 講義（一部変更）

原則、オンライン講義（遠隔講義）とします。講義の出席は、原則Google・フォームを利用して行います。（授業科目により、小テスト、課題提出、Zoomのチャット等による場合もあります。）

なお、通信環境が不安定な学生等についても、自宅での受講を継続してください。

③ 実習・実験（変更）

実施を延期します。担当教員の指示に従ってください。

④ 病院実習（変更）

ア 医学部の臨床実習は、完全在宅実習を継続します。

イ 産業保健学部の臨地実習は、当面の間、遠隔での実習を実施します。

⑤ 大学院生の研究活動（研究カンファレンス参加含む）（変更なし）

感染防止対策を行ったうえで、担当指導教員の指導に従い実施してください。

- ⑥ 学内施設の利用（変更）
図書館、コンピュータ実習室の利用再開を延期します。なお、体育館、プール棟、医心館は、引き続き閉鎖します。グラウンドの使用も禁止します。
- ⑦ 学生自習室（1号館、2号館、3号館）の利用（変更）
各自習室の利用再開を延期します。
- ⑧ サークル活動、同好会活動等（変更なし）
引き続き、サークル活動及び同好会の活動を禁止します。学生同士の食事会・懇談会も、引き続き禁止します。
- ⑨ 学生食堂の利用（変更）
利用再開を延期します。

3 その他の注意事項

- ① 感染防止のため、政府が公表した「新しい生活様式」を実践してください。
- ② 毎日、体調管理（検温の実施等）を行い記録してください。体調が悪い場合（発熱、倦怠感、のどの痛み、せき、味覚・嗅覚異常等）には、すぐに大学に連絡してください。
- ③ 不要不急の外出は、控えてください。他の都道府県への移動（帰省等）は、原則禁止します。
- ④ 不特定多数の人と接する機会のあるアルバイトは自粛してください。
- ⑤ その他、学習に関して、学生生活に関して不安や心配がある場合には、遠慮なく下記の連絡先まで相談をお願いします。

連絡先・相談先

講義に関して	教務課 医学部・大学院	093-691-7207
	産業保健学部	093-691-7296
学生生活に関して	学生課	093-691-7211
健康・体調に関して	保健センター	093-691-7487
メール（教務課）	kyomu1-1@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp	
メール（学生課）	gakusei@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp	

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 遊びに行くなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定